

【NY 2016/02/26(金)】 TOCOM 天然ゴム先物価格 (円/キログラム)

限月	始値	高値	安値	終値	帳入値	前日比	出来高	取組高	
2016/03	146.00	147.40	145.30	147.40	147.40	0	29	955	
2016/04	149.00	150.00	148.40	149.50	149.50	0	69	2,381	
2016/05	152.10	152.80	151.30	152.30	152.30	-0.50	102	4,224	
2016/06	153.60	154.70	152.90	154.10	153.90	-0.80	670	5,835	
2016/07	155.30	156.10	154.00	155.10	155.20	-0.80	3,398	10,666	
2016/08	155.40	156.30	154.10	155.40	155.60	-0.40	4,894	3,669	
全体	取引日:2016年02月26日							9,162	27,730

【天然ゴム概況と分析】 上海株連動で小幅安も、G20待ちで下げ渋る

東京ゴムは、前日比変わらず～0.80円安。石油や日経平均株価は底固く推移したが、上海ゴム相場の急落が嫌気され、戻り売り優勢の展開になった。ただ、週末を前にショートカバー（買い戻し）を入れる動きも強く、下げ幅は限定されている。期近2限月は前日終値と同水準で引けている。

為替は円安・ドル高方向に振れたが、東京ゴムは序盤に大きく売られる展開になった。前日は上海株の軟化にもかかわらず上海ゴムは底固く推移したが、本日の上海ゴムは前日比で3%を超える急落となっており、これがそのまま東京ゴム相場も押し下げている。ただ、序盤の売り一巡後は下げ一服となり、午後に入ってから下げ幅を縮小する動きが目立った。特にポジティブ材料が浮上してきた訳ではないが、20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議の内容次第では来週の地合が大きく変わる可能性もあるだけに、ポジション調整に伴うショートカバーが下値を支えた模様だ。引け際にはほぼ前日終値と同水準まで戻している。

需給面では、特に目を引くような新しい動きはみられない。需給よりも株価、原油相場、円相場の動向などが注目を集めており、G20を挟んで投資家マインドの改善が実現するか否かが焦点になる。その先には中国の全国人民代表大会も控えており、有効な政策が打ち出されれば、短期でのゴム相場の下値不安は後退する。ただ、2月1日に発表される中国の製造業PMIは前月に続いて厳しい数値が想定されており、このまま中国リ

スクの緩和が見送られるのであれば、天然ゴム相場の反発余地は限定されよう。

タイ中央ゴム市場のUSS集荷量は85.28トン。前日の82.95トンからほぼ横ばい。現物相場は前日の41.25バーツから40.60バーツまで下落しており、産地主導で上値を試すことには失敗している。タイでは農産物全体の生産調整が検討されているが、天然ゴム分野でどのような政策対応が取られるのかは不透明感が強く、断続的に現物相場を押し上げることには失敗している。

来週にかけてはG20後のリスクマーケットの地合が注目されるが、需給緩和と圧力の解消が伴わない戻り圧力には限界があろう。3月からはタイ、インドネシア、マレーシアの生産調整も実施される予定だが、そこで明確な供給削減の動きが確認できなければ、150円の節目は割り込む方向が想定される。短期では外部環境次第の展開になるが、原油高や株高などでリバウンドする場面があれば、再度の売り場となる見通し。

2016/02/26(金)

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努

<http://www.marketedge.co.jp>  
[info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

## 発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)  
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)  
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>  
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)  
1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。東京商品取引所認定・上級知識修得者（貴金属、石油、ゴム、農産物）。

E-mail: [kosuge@marketedge.co.jp](mailto:kosuge@marketedge.co.jp)Twitter @[kosuge\\_tsutomu](https://twitter.com/kosuge_tsutomu)